

【教養趣味系講座情報】

① 講師名 木野村 茂美

(講座NO. 40101)

② 講座名 「紫式部といふ人」—『紫式部日記』を通して—

③ 内容

2024年度NHK大河ドラマでは紫式部の人生を描いた作品が放送されました。そこで、『源氏物語』という、日本を代表する古典文学として世界的にも著名な作品を残した紫式部の人となり『紫式部日記』を通して垣間見てみませんか。

『紫式部日記』には、紫式部が幼少期、弟が漢籍を学んでいるときに耳学問ながら、弟より早く漢籍を理解し、父からその才能を認められていた話も記されています。『源氏物語』の「桐壺巻」に、桐壺帝の桐壺更衣への寵愛ぶりを、唐の安史の乱(玄宗皇帝が楊貴妃を寵愛したことで国政が傾いたこと)を想像させる話題として描かれています。これは、紫式部に漢籍の素養があったことと関係が深いと考えられます。

『紫式部日記』を読んで、『源氏物語』の作者紫式部という人とその生きた時代を垣間見てみましょう。

④ 会場 丸の内

⑤ 回数 全 5 回

⑥ 曜日・時間 土 曜日 10:30 ~ 12:00

⑦ 受講料 11,000 円

⑧ 定員 20 名

⑨ 教材費等

無	プリント配布(都度 資料代を徴収 1ページあたり10円を予定)
その他(準備するものなど)	筆記用具

⑩ シラバス	回	日付	内容
	1	10/4	殿から宮への贈物／五節の舞姫——二十一日／殿上の淵酔・午前の試み／童女御覧の儀——二十二日／左京の君
	2	10/25	五節も過ぎて／臨時祭——十一月二十八日／年末独泳——十一月二十九日の夜／晦日の夜の引きはぎ／新年御戴餅の儀——寛弘六年正月
	3	11/22	人々の容姿と性格／斎院と中宮御所／和泉式部・赤染衛門・清少納言批評／わが身をかえりみて／人の心さまざま
	4	12/6	日本紀の御局・楽府御進講／求道の願いとためらい／文をとじるにあたって／御堂詣でと舟遊び／人にまだ折られるものを
	5	1/31	戸をたたく人／若宮たちの御戴餅の儀——寛弘七年正月／中宮の臨時客・子の遊び／中務の乳母／二の宮の御五十日——正月十五日

※日程変更